

編 集 後 記

ベトナム和平の調印が行なわれ、世界は通貨危機に揺すぶられている。この目まぐるしい動きの中で、わが国だけが埒外にあるということではできない。日本は昨年あたりから、経済優先から福祉優先へと180°転換したように言われるが、福祉行政、医療行政の末端にあって日常患者に接しているわれわれから見ると、これが現実の言葉となるのは果していつの時からという気がする。われわれとしては、リハビリテーションの理念に根ざした目標に向かって地道な努力を続けていく以外に道はないと思われるが、それにつけてもリハビリテーション従事者のチームワークの重要さがあらためて痛感される。砂原先生が巻頭言で言われるように、お互にタコツボにとじこもることを止めて手を握り合おうではないか。

さて第1, 2号の“片麻痺のリハビリテーション”の特集に引続いて、第3, 4号で“慢性関節リウマチ”を特集として採り上げた。第3号では内科, 小児科, リハ

ビリテーション関係に重点を置き、第4号では主として“リウマチの外科”について特集する予定である。今後もこの特集形式はできるだけ続けたいと思っている。

“総合リハビリテーション”は本号で誕生以来3冊目であり、おおむね最初に編集委員会で意図した線に沿って進んできており、各執筆者の絶大な御協力を得て予想以上に立派な雑誌となって来たのを喜んでいる。“総合リハ”の名にふさわしいように、リハビリテーション関係各領域にわたり、各職種の方々に執筆を依頼し、広い視野と展望を持った雑誌になることを願っている。読者の方々も本号を含めた既刊の3冊を御覧いただければ、編集者の意図する本誌の特色を御理解いただけると思う。今後も執筆という面で御協力いただきたいことと、御批判, 御希望等をどしどしお寄せ下さることをお願いしたい。

(土屋 弘吉)

次 号 予 告 (1 卷 4 号)

巻 頭 言	医療と社会……………那 須 宗 一 (東京都老人総合研究所)
特 集	リウマチのリハビリテーション II
	リウマチの病因論……………東 威 (東大)
	慢性関節リウマチにおける上肢の手術と後療法…山 内 裕 雄 (順天堂大)
	リウマチの外科的治療とリハビリテーション
	—股関節全置換術を中心として—……………長 屋 郁 郎 (国立名古屋病院)
	リウマチの外科的治療とリハビリテーション
	—膝と足—……………広 畑 和 志 (神戸大)
	重度リウマチのリハビリテーション……………伊 藤 久 次 (国立伊東温泉病院)
	日本リウマチ協会・リウマチ友の会の紹介……………景 山 孝 正 (国立相模原病院)
研究と報告	在宅重度身障者への新しいリハビリテーション
	サービスとしてのワークアクティビティ……………松 井 亮 輔 (アガベ授産所)
講 座	廃用性骨萎縮 (1) ………………稲 葉 午 朗 (帝京大)
	医学的リハビリテーション施設の計画 (3) ……陳 慧 玉 (東京都老人総合研究所)
	リハビリテーションと社会福祉 (3) ………………石 井 巧 一・他 (神奈川県身障者更生指導所)
一 頁 講 座	排泄作用……………野 村 歆 (日大理工学部)
ひ と	杉山 尚……………萱 場 倫 夫 (東北大鳴子分院)
学 会 報 告	第12回世界リハビリテーション会議……………小 池 文 英・他 (整肢療護園)
海外だより	欧米リハビリテーションみてある記……………長 尾 竜 郎 (九州労災)